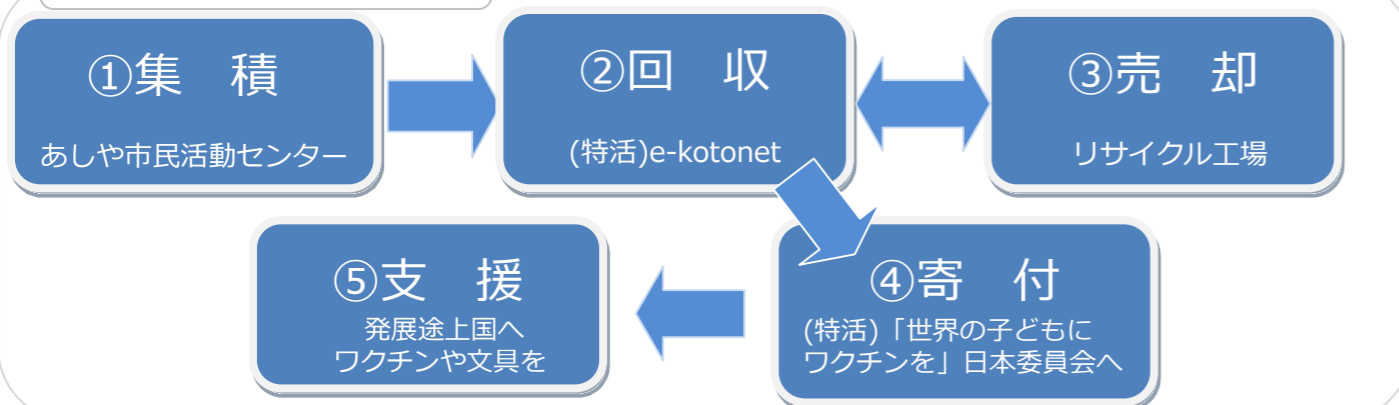


# 1,900 人分のワクチンに！！ 累積 150 万個を超えたエコキャップ回収支援事業

○おかげさまで 150 万個を突破！！小さな積み重ねが大きな結果に。

○一昨年から開始しておりますエコキャップ回収支援事業が、7月22日の回収時点で累積150万個を突破したことが分かりました。これはワクチン換算にしておよそ1,900人分になります。小さな積み重ねが、およそ2年でこれだけの大きな結果となりました。ご協力いただいている皆様、どうもありがとうございました。

## エコキャップ回収の流れ



## ○エコキャップの回収の仕方 (あしや市民活動センターからのお願い！！)

- ①キレイに洗ってください(シールも剥がして)
  - ②小さな袋に小分けしないでください
  - ③45L 透明のごみ袋に入れてください
  - ④ペットボトルのキャップのみお集めください。
- ご協力よろしくお願いたします。

## 次回のティータイム交流会(さまざまな分野の団体や市民活動を始めてみたい方との交流会)

◆10月2日(土):13時30分~

田舎暮らしに憧れる 『里山集落との交流・話し合い』 地域間交流・小規模集落と芦屋市民の交流会

対 象：芦屋市内で活動されている団体、里山との交流に関心のある個人の方など

内 容：小規模集落からのお話し、芦屋の団体からの提案、その他意見交換

参加費：無料 開催場所及び連絡先：あしや市民活動センター (担当：植田)

### □利用の案内

- ・利用時間: 午前10時~午後5時(月曜~土曜日)
- ・休館日: 日曜日・祝日(国民の休日)・年末年始

### □アクセス

- ・精道小学校北側 旧消防署の北の道を東に100メートル
- ・「阪神芦屋駅」・阪急バス「阪神芦屋停留所」から東に徒歩2分

### □連絡先:

〒659-0064 芦屋市精道町5番11号  
TEL: 0797-26-6452 FAX: 0797-26-6453  
Eメール aia@ashyanpo.jp



# 「あしや市民活動センター」情報紙

# かわらばん

第10号  
10/8/17  
発行

発行：あしや市民活動センター(指定管理者;(特活)あしやNPOセンター) 〒659-0064 芦屋市精道町5番11号  
TEL:0797-26-6452 FAX:0797-26-6453 HP http://www.ashyanpo.jp E-Mail : aia@ashyanpo.jp

## 第10号 ヘッドライン

- イベント開催報告 (50代からの地域活動とこどものマネー学習ゲーム) ……1面
- 交流会のまとめとその後 (参加者の声と新たな取り組み) ……2.3面
- ・リタイアメントセミナー(6月)開催報告
- ・子どものマネー学習ゲーム
- ・8分科会の内容と、意見の紹介
- ・実行委員名簿
- All Ashiya 交流会「夏」開催報告 ……2面
- これからの交流事業紹介 ……4面
- ・交流会に関して
- ・「つながる力」を体感!!
- ・おかげさまで150万個 エコキャップ事業報告
- ・キャップ回収の仕方(センターからのお願い)
- ・里山集落とのティータイム交流会 10月2日13時30分より

◆地域で楽しむ、地域で育てる あしや市民活動センターの交流事業報告

## リタイアメントセミナー(6月)&子どものマネー学習ゲームイベント

### ■ティータイム交流会6月;リタイアメントセミナー

あしや市民活動センターでは、市民がリタイア(定年退職や子育て終了等)された後、地域で生きがいと楽しみを見つけることの支援事業を毎年行っています。当日は、市内で既に活動を始められている方々からの「リタイアしてから、活動を始めるまで」の話を中心に、現在行っている活動についてご紹介いただきました。

### 活動紹介団体一覧

- ・芦屋川カレッジ学友会(芦屋市の生涯学習の場)
- ・夢パワー企画(交流分析のスキルを使ったコミュニケーション講座実施)
- ・芦屋市国際交流協会(市内の外国人市民との交流)
- ・ほっとポット(市内福祉施設等でボランティア活動を展開),
- ・ともしびマジックサークル(マジックでボランティア活動を行っている)
- ・阪神えがおプロジェクト(市内の芸能ボランティアが集合)
- ・浜風小学校支援地域本部(地域の多世代交流を支援)
- ・芦屋森の会2001(芦屋の森を保全する活動)

参加者の皆さんは、自分に合った地域活動はどれかと、熱心に話に聞き入っておられました。センターでは常時ボランティア活動のご紹介をしておりますので、お気軽にお立ち寄りください。



左上から時計回りに  
芦屋川カレッジ学友会 平家さん、夢パワー企画 岡部さん、芦屋市国際交流協会 橋谷さん、阪神えがおプロジェクト 北中さん、ともしびマジックサークル 矢野さん、浜風小学校支援地域本部 山田さん、ほっとポット 吉田さん、芦屋森の会 2001 富田さん



FPから「手ほどき(?)」を受けながらのお金のやりくりと使い方を学習中。

### ■ティータイム交流会7月;子どものマネー学習ゲーム

初の試みとして、子ども向けマネー学習プログラムを開始しました。今回は、お金の専門家と呼ばれるFP(ファイナンシャルプランナー)資格を持つ専門NPO団体である(特活)日本FP協会 兵庫支部の有志12人のご協力を得て、人生を豊かに過ごすためのお金の使い方をゲーム形式で学びイベントを開催致しました。

### ゲーム内容と参加者の声

4人1テーブルを囲み、ゴールした時に、所持金の額でも、ゴールした順位でもなく、最も「満足度」の高いゴールをした人が「勝ち」となるゲームで、ゲーム終了後、意見交換をしたところ、「満足するお金の使い方が変わった」(小5女子)など、主催者としては、思った以上にお金について「学んで」もらったのではないかと、手応えを感じたイベントになりました。

あしやの市民活動団体が一堂に会した

# All Ashiya 交交交 “夏” 開催報告

## ◆交流会について

7月12日、芦屋市青少年センター(川西町)にて、あしや市民活動センター登録団体を中心に、市内で活動をされる市民団体の方々にご参加頂き、今までとこれからあしやの市民活動に関して、8種のテーマに分かれ意見交換をして頂きました。

## ◆「つながる力」を体感！！

当日は、88名の方々にお集まりいただきました。芦屋市長のあいさつに続き、本交流会の実行委員であり慶応義塾大学 SFC 研究所上席所員の菅沼久美子氏より“地域に必要な「つながる力」”に関してご講演頂きました。信頼による“ソーシャルキャピタル\*1”の醸成により、市民活動がより活発になり、ひいては芦屋市全体がより活発に向かうのではないかと菅沼氏の提案の下、参加者はそれぞれの希望する分野ごとの分科会に入り、意見・情報の交換が行われました。

## “環境”

◇芦屋市の環境を保全、活用するための体制、ルールに関して話し合われた。

-意見の一部-

- ①市民が担えること
  - ・人手(シニアパワー) ・人材育成の為の経験の伝授
  - ・市外の良い活動を知り、市内の良い活動を PR
- ②行政の役割
  - ・情報公開、伝達のルール ・経費助成
  - ・若手の参加 ・広報ルール、活動 PR の場

## “ボランティア交流”

◇交流会によって顔合わせをしたボランティアの方々が、ボランティア同士の交流に関して意見交換した。

-意見の一部-

- ・交流会により知らなかった活動の情報が得られ、横のつながりができた。
- ・自分たちの活動をもっと PR すべき
- ・それぞれの事業への参加声かけ
- ・つながることで自分たちの活動が広がっていくことを体感できた。

## “子育て・青少年健全育成”

◇地域になかなか根ざさない、子育て支援活動に関して話し合われた。

特に、子育て中の親をどのように地域で支えるか、また市内の取り組みに関して意見交換がなされた。

-意見の一部-

- ・子育てに忙しい親に合わせ、イベントの開催日時など、支援側から働きかける必要がある。
- ・いざという時に頼りになるのは近隣の人間である事を伝える必要があるのではないか?
- ・次回は若いお母さんを集め、目的・対象を絞って話し合うべきだ。

## “生涯学習・芸術文化”

◇芦屋市内の芸術文化活動の発表の場づくり、現在取り組まれている活動支援、生涯学習の在り方に関して意見が交換された。

-意見の一部-

- ・ Skill(技能)のある方の姿を見て、自然に与えられ、生涯学習効果が出る。
- ・発表の場づくりが必要(美博、新福祉センターを市民の為に活用提案)
- ・あしや市民フェスタに新しいジャンルを加えてみては?
- ・この分野の新たなコミュニティ育成に向け、ブログを立ち上げたり、テーマ毎のcaféなどを開いては?

## “国際交流”

◇海外駐在経験や市内での国際交流活動の経験から、芦屋の国際交流の在り方について意見交換がなされた。

-意見の一部-

- ・世界に通用する人材育成が必要!
- ・少数意見も反映するような町に!
- ・より充実した活動に向け、国際交流団体以外との情報交換・ネットワークの構築が必要

## “福祉”

◇保健福祉センターオープンを契機に、芦屋市内の福祉の充実に向けたその施設利用に関して、芦屋市の福祉に関しての意見交換がなされた。

-意見の一部-

- ・芦屋の福祉政策は近隣と比べ、立ち遅れている。
- ・センターには障がい児・者の交流する場となり、福祉の知識普及の場となって欲しい。
- ・保健関連に関しては、単なる交通整理ではないサービス提供を望む。
- ・福祉という分野単独で解決できないことが沢山あり、センターには他分野との交流を促す機能が欲しい。

## “まちづくり”

◇これからの芦屋の地域コミュニティについて、戸建住宅住民と集合住宅、特に分譲マンション住民との関係について話し合いがなされた。

-意見の一部-

- ・自治会活動に関心の薄い分譲マンションは、管理組合の役員が自治会に加入してはどうか?
- ・自治会活動は活動の広報を積極的に行う必要がある。

## “IT・情報ツール活用”

◇地域活動をつなげる IT ツール「ツイッター」に関して、その機能と特長に関して話がなされた。

-意見の一部-

- ①世代別によるデジタルツールへの適応能力に関して
  - ・76世代:デジタル母国語世代 ・86世代:携帯文化
  - ・96世代:情報を無料入手、動画を自由に使いこなす
- ②ツイッターとは、140文字でリアルタイムでつぶやき(ツイート)、フォロワーと呼ばれる登録者とつぶやきメッセージを交換。善意のコミュニケーションと呼ばれることもあり、良質の情報が入手しやすくなる。

実行委員一覧

- ・菅沼 久美子
  - ・牧野 君代
  - ・橋谷 静子
  - ・守上 三奈子
  - ・宮平 太
  - ・森 幸子
  - ・河口 紅
  - ・堤 久典
  - ・加藤 純子
  - ・海士 美雪
  - ・植田 英三郎
- (順不同、敬称略)

今回の All Ashiya 交流会は詳細が決まりましたら、ホームページ等でお知らせします。